

日産 GT-R に 2019 年モデル、最新コネクタ搭載

日産自動車の米国部門は 12 月 5 日、『GT-R』(Nissan GT-R) の 2019 年モデルを発表した。





2019年モデルでは、「ピュア」、「プレミアム」、「トラックエディション」、「NISMO（ニスモ）」の4グレードをラインナップした。全車にLED デイタイムランニングライト付きのLED ヘッドライト、Apple の「CarPlay」やナビゲーションシステムを含む「日産コネク」、レザー&スウェード製のフロントスポーツシートが標準装備されている。





日産コネクトは、8インチのディスプレイを核にした最新システムで、ナビゲーションやオーディオの操作が、音声認識で可能に。スマートフォンなどの操作もブルートゥースにより、ハンズフリーで行える。



VR38DETT型3.8リットルV型6気筒ガソリンツインターボエンジンは、最大出力565hp、最大トルク64.6kgmを発生する。NISMOでは、最大出力が600hp、最大トルクが66.5kgmに引き上げられる。レーシングカーの『GT-R NISMO GT3』用の高効率な大容量タービンをはじめ、気筒ごとに最適な点火時期をコントロールする制御や、最適な燃料噴射量をコン

トロールするインジェクター駆動回路を採用した。



2019年モデルのGT-Rの米国ベース価格は、9万9990ドル（約1130万円）。10万ドルを切るベース価格を維持している。

文/照片 Response
翻译编辑 JST 客观日本编辑部

日文发布全文 <https://response.jp/article/2018/12/06/316929.html>